９　外国語

指導と評価の年間計画（シラバス）

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	3	第２学年	クラウン「チャンクで英単語 Standard Power OnⅡ

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅱの授業は、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能の力をつける授業です。そのため、聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行います。授業では積極的に英語を使い、活動に参加しましょう。

・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」ということを意識して学習しましょう。

・音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第２学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（３単位

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目･評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目･評価
聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合うなどして結論をまとめる。	コミュ英Ⅱ インタビューテスト スピーチ	・聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，まとまりのある文章を書く。	コミュ英Ⅱ 定期考査	・事物に関する紹介や報告，対話や討論などを聞いて，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりする。	コミュ英Ⅱ 授業内で行うリスニング活動	・説明，評論，物語，随筆などについて，速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また，聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。	コミュ英Ⅱ 授業内で行うリーディング活動 定期考査

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (9時間)	・写真を撮ることが記憶に与える影響について読み取る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・自身のスマートフォンの使用状況について、本文中の表現を用いて説明する。	・本文で用いられている英語表現を使用してワークシートに記入し、ペア、またはグループで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力して会話を続けている。	・ペアでの言語活動をT.T.で観察する。 ・授業時間の中で音読テストや短いスピーチ発表の場を設ける。
		「外国語表現の能力」			
		・本文の説明を読んで、その内容を口頭で要約する。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・内容について英問英答を作成し、ペアで活動する。	・本文を読んで、その内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことに基づき、英問英答を作成できている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・本文で用いられている出来事や人物の背景を確認しながら、メッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英問を通してアウトラインを把握し、語彙や表現の推測と確認、そしてメッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英文の判断を通して、本文のメッセージが正しく把握できているかを確認する。	・定期考査の中で、本文の内容の理解度を問うような形で実施する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・スマートフォンの使用状況について知る。 ・関係代名詞 what, 現在完了進行形の表現を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・関係代名詞 what, 現在完了進行形のそれぞれの意味や働き，形を理解して簡単な英文を作成できる。	・定期考査において、言語の使用場面や働きの知識が身に付いているかを判断する。
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 2 (9時間)	・エシカルファッション製品は何に配慮して作られているのかを読み取る。。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ファストファッションとエシカルファッションの違いについて本文中の表現を用いて説明する。	・ファストファッションとエシカルファッションを比較し、分かったことや感想をワークシートに記入し、ペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力して会話を続けている。	・ペアでの言語活動をT.T.で観察する。 ・授業時間の中で音読テストや短いスピーチ発表の場を設ける。
		「外国語表現の能力」			
		・本文の説明を読んで、その内容を口頭で要約する。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・内容について英問英答を作成し、ペアで活動する。	・本文を読んで、その内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことに基づき、英問英答を作成できている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・本文で用いられている出来事や人物の背景を確認しながら、メッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英問を通してアウトラインを把握し、語彙や表現の推測と確認、そしてメッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英文の判断を通して、本文のメッセージが正しく把握できているかを確認する。	・定期考査の中で、本文の内容の理解度を問うような形で実施する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・エシカルファッションの会社の取り組みを知り、消費について考える。。 ・助動詞＋受け身、分調構文の表現を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・助動詞＋受け身、協調構文のそれぞれの意味や働き、形を理解して、簡単な英文を作成できる。	・定期考査において、言語の使用場面や働きの知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 (9時間)	・ランドフィル・ハーモニックが始まった経緯やカテウラの子どもたちにもたらしている影響について読み取る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・オーケストラについて、知っていることをペアで伝え合う。	・感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力して会話を続けている。	・ペアでの言語活動をT.T.で観察する。 ・授業時間の中で音読テストや短いスピーチ発表の場を設ける。
		「外国語表現の能力」			
		・ランドフィル・ハーモニックについて、本文から分かったことをペアで伝え合う。	・本文で用いられている表現を使い、ワークシートを用いてストーリー・リテリングをペア・ワークで練習する。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力して会話を続けている。 ・本文の内容を要約することができている。	・定期考査はもとより、・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・本文で用いられている出来事や人物の背景を確認しながら、メッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英問を通してアウトラインを把握し、語彙や表現の推測と確認、そしてメッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英文の判断を通して、本文のメッセージが正しく把握できているかを確認する。	・定期考査の中で、本文の内容の理解度を問うような形で実施する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・世界の国の小学校就学率について知る。 ・関係副詞 where, 過去完了形,使役動詞を用いて文を作る。	・世界の国の小学校就学率について英語を聞いて表を完成し, その内容を発表する。 ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・世界の国の小学校就学率についてまとまった文を書くことができる。 ・関係副詞 where, 過去完了形,使役動詞のそれぞれの意味や働き, 形を理解している。	・定期考査において、言語の使用場面や働きの知識が身に付いているかを判断する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 4 (9時間)	・スコットランドの地理や文化を理解し、日本との関連について読み取る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・自分が魅力を伝えたい世界遺産について, 紹介することができる。	・本文で用いられている表現を参考にしながら、世界遺産についてワークシートを記入し、ペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力して会話を続けている。	・ペアでの言語活動をT.T.で観察する。 ・授業時間の中で音読テストや短いスピーチ発表の場を設ける。
		「外国語表現の能力」			
		・本文の説明を読んで、その内容を口頭で要約する。	・内容について英問英答を作成し、ペアで活動する。	・読んだことに基づき、英問英答を作成できている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。。
		「外国語理解の能力」			
		・本文で用いられている出来事や人物の背景を確認しながら、メッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英問を通してアウトラインを把握し、語彙や表現の推測と確認、そしてメッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英文の判断を通して、本文のメッセージが正しく把握できているかを確認する。	・定期考査の中で、本文の内容の理解度を問うような形で実施する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・関係代名詞の非制限用法、知覚動詞、appear(seem) to 不定詞の文型を用いて文を作る。 ・スコットランドの地理、歴史を知る。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・関係代名詞の非制限用法、知覚動詞、appear(seem) to 不定詞の文型のそれぞれの意味や働き, 形を理解している。	・定期考査において、言語の使用場面や働きの知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 5 (9時間)	・海藻が世界の国々で評価されている理由や海藻の効能について読み取る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		海外で人気のある日本食を推測し、会話を行う。	・感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力して会話を続けている。	・ペアでの言語活動をT.T.で観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・それぞれの海藻の特徴や利点について、本文から読み取ったことをペアで伝え合う。	・本文で用いられている表現を使い、ワークシートを用いてストーリー・リテリングをペア・ワークで練習する。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力して会話を続けている。	・ペアでの言語活動をT.T.で観察する。 ・授業時間の中で音読テストや短いスピーチ発表の場を設ける。
		「外国語理解の能力」			
		・本文で用いられている出来事や人物の背景を確認しながら、メッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英問を通してアウトラインを把握し、語彙や表現の推測と確認、そしてメッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英文の判断を通して、本文のメッセージが正しく把握できているかを確認する。	・定期考査の中で、本文の内容の理解度を問うような形で実施する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・分詞構文、倍数表現、形式目的語を用いて文を作る。 ・海藻が世界の国々で評価されていることを知る。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・分詞構文、倍数表現、形式目的語のそれぞれの意味や働き，形を理解している。	・定期考査において、言語の使用場面や働きの知識が身に付いているかを判断する。
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 6 (11時間)	・野菜工場での野菜の作り方や野菜工場の利点・欠点を読み取る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		この単元では設定しない。	・ワークシートを利用して、セクションごとに野菜工場の利点・欠点について例示する表現を用いた対話をペア・ワークで行	この単元では設定しない。	この単元では設定しない。
		「外国語表現の能力」			
		・本文の説明を読んで、その内容を口頭で要約する。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・内容について英問英答を作成し、ペアで活動する。	・本文を読んで、その内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことに基づき、英問英答を作成できている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・本文で用いられている出来事や人物の背景を確認しながら、メッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英問を通してアウトラインを把握し、語彙や表現の推測と確認、そしてメッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英文の判断を通して、本文のメッセージが正しく把握できているかを確認する。	・定期考査の中で、本文の内容の理解度を問うような形で実施する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・ appears[seems]that節，未来完了形，whether … or notの表現のそれぞれの意味や働き，形を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・appears[seems]that節,未来完了形,whether … or notの表現を理解し,簡単な英文を作成することができる。	・定期考査において、言語の使用場面や働きの知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 (11 時間)	・色の視覚的効果と、心理的効果について読み取る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		好きな色のランキングに関する内容を理解し、自分の好きな色とその理由をペアで伝えあう。	・好きな色のランキングに関する英文を聞いて理解する。 ・ワークシートを用いて自分の好きな色とその理由を発表する。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力して会話を続けている。	・ペアでの言語活動をT.T.で観察する。 ・授業時間の中で短いスピーチ発表の場を設ける。
		「外国語表現の能力」			
		・それぞれの色の視覚的効果と心理的効果について、本文から読み取ったことをペアで伝え合う。	・本文で用いられている表現を使い、ワークシートを用いてストーリー・リテリングをペア・ワークで練習する。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力して会話を続けている。	・ペアでの言語活動をT.T.で観察する。 ・授業時間の中で音読テストや短いスピーチ発表の場を設ける。
		「外国語理解の能力」			
		・本文で用いられている出来事や人物の背景を確認しながら、メッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英問を通してアウトラインを把握し、語彙や表現の推測と確認、そしてメッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英文の判断を通して、本文のメッセージが正しく把握できているかを確認する。	・定期考査の中で、本文の内容の理解度を問うような形で実施する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・同格の that, 前置詞＋関係代名詞, whose, propose＋that SV のそれぞれの意味や働き，形を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・同格の that, 前置詞＋関係代名詞, whose, propose＋that SV のそれぞれの意味や働き，形を理解している。	・定期考査において、言語の使用場面や働きの知識が身に付いているかを判断する。
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 8 (11 時間)	・卓球の平野美宇選手と伊藤美誠選手の経歴や彼女たちが成功するために大切だと考えていることについて読み取る。。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・伊藤美誠選手のインタビューを読み聞きし、そこから分かったことをペアで伝え合う。	・感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力して会話を続けている。	・ペアでの言語活動をT.T.で観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・二人の選手の経歴や考えについて、本文から読み取ったことを、自身の感想を交えてペアで伝え合う。	・本文で用いられている表現を使い、ワークシートを用いてストーリー・リテリングをペア・ワークで練習する。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力して会話を続けている。	・ペアでの言語活動をT.T.で観察する。 ・定期考査はもとより、授業時間の中で音読テストや短いスピーチ発表の場を設ける。
		・本文で用いられている出来事や人物の背景を確認しながら、メッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英問を通してアウトラインを把握し、語彙や表現の推測と確認、そしてメッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英文の判断を通して、本文のメッセージが正しく把握できているかを確認する。	・定期考査の中で、本文の内容の理解度を問うような形で実施する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・付帯状況の with, to have過去分詞, 助動詞 have 過去分詞のそれぞれの意味や働き，形を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・付帯状況の with, to have 過去分詞, 助動詞 have 過去分詞のそれぞれの意味や働き，形を理解している。	・定期考査において、言語の使用場面や働きの知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 (11 時間)	・シェアリングが日本や世界でどのように広まっているかを読み取る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		この単元では設定しない。	・ワークシートを利用して、セクションごとにシェアリングの利点について例示する表現を用いた対話をペア・ワークで行	この単元では設定しない。	この単元では設定しない。
		「外国語表現の能力」			
		・本文を読んでカーシェアリングや自転車シェアリングについて知り、自分の意見を述べることができる。	・ワークシートを用いて自分が自転車シェアリングについて賛成か反対かと、その意見を述べる。	・指定された内容についてまとまった英文を書くことができ、意見を発表できる。	・ペアでの言語活動を T. T. で観察する。 ・授業時間の中で音読テストや短いスピーチ発表の場を設ける。
		「外国語理解の能力」			
		・本文で用いられている出来事や人物の背景を確認しながら、メッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英問を通してアウトラインを把握し、語彙や表現の推測と確認、そしてメッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英文の判断を通して、本文のメッセージが正しく把握できているかを確認する。	・定期考査の中で、本文の内容の理解度を問うような形で実施する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・強調表現, It is said ＋that 節, 形式目的語 it, had been ～ing のそれぞれの意味や働き，形を理解する。 ・世界でシェアリングが進んでいることを知る。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・強調表現, It is said ＋that 節, 形式目的語 it, had been ～ing のそれぞれの意味や働き，形を理解している。	・定期考査において、言語の使用場面や働きの知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 10 (11 時間)	・ソーラークッカーのメリットや活用例を読み取る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		この単元では設定しない。	・ワークシートを利用して、セクションごとにソーラークッカーの利点について例示する表現を用いた対話をペア・ワークで行	この単元では設定しない。	この単元では設定しない。
		「外国語表現の能力」			
		・本文の説明を読んで、その内容を口頭で要約する。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・内容について英問英答を作成し、ペアで活動する。	・本文を読んで、その内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことに基づき、英問英答を作成できている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・本文で用いられている出来事や人物の背景を確認しながら、メッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英問を通してアウトラインを把握し、語彙や表現の推測と確認、そしてメッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英文の判断を通して、本文のメッセージが正しく把握できているかを確認する。	・定期考査の中で、本文の内容の理解度を問うような形で実施する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・be to 不定詞, 仮定法, 関係副詞 where, when の非制限用法のそれぞれの意味や働き，形を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・be to 不定詞, 仮定法,関係副詞 where, when の非制限用法の意味や働きを理解している。	・定期考査において、言語の使用場面や働きの知識が身に付いているかを判断する。